

6月 定例山行 城山 (265.6m)

廿日市市 大野町

6月 6日 (水) ☆天候 晴れ

参加者 5名 CL 若木

三重(成)、三重(典)、得本、熊野

コースタイム JR大野浦駅 10:30→妹背の滝 11:00→城山山頂 12:10 (昼食)
→経小屋山分岐 13:40→大野浦駅 14:10

報告

田村さんのお母様が突然体調をくずされ看病のため参加できなくなったので若木がCLを代行することになった。

行ったことのない山なので、一度下見をしておこうと思いながらズルズルとその日が来てしまった。本(山城と歴史 請川洋一 著)を読んで始めて戦国時代の山城の跡だと知った。門山城(かどやまじょう)と呼ばれ、大野の豪族「大野弾正小弼」によって築城されたとある。大野浦を望む要衝の地点で毛利氏と大内氏の間でこの地をめぐる攻防が繰り返された。頂上からは大野の瀬戸が大きく広がり、ここを往来する船は全て見える。不振な船はすぐ一報されたちまち襲撃された。大きな石には砦があったと思われる柱の穴がたくさん残っている。「馬のた

らい」と称される細長い水槽状の窪みが彫ってあったがこれはどんな用に使われたのだろう。静かに座って大野の瀬戸を眺めれば戦国時代の歴史が浮かんでくる。

城山は大野浦駅を降りてすぐ目の前に見える。「いもせ遊園」を過ぎて滝山橋を渡ると左手にトイレが見えた。その裏に登山口はあった。いきなり急登で汗をかけたが1時間あまりで頂上に着く。涼しい風に吹かれながら柱穴のある大石に座って食事をした。やまぼうしの会員にとっては少し物足りない距離ではあるが、戦国の世に思いをはせる楽しい山行だった。

近場の山をゆっくり楽しむのも良い。平日山行にもっとたくさんの人に参加してほしいものだ。(記 若木 一之)

